

成長へ海外市場開拓

エネクスやサイサン 東南アに

日本企業によるLPガス 献する狙いだ。

事業での東南アジア進

伊藤忠エネクスは伊藤

らに日系の工業用ユーザ

LPガスは年10%増の高

出が目立っている。伊藤

忠商事が40%を保有する

サイサンの海外LPガ

成長率が見込まれる。

忠エネクスが16年5月に

フィリピンのLPガス販

事業はモンゴルを先行

メラ石油をパートナーに

フィリピン、サイサンが

売会社、イスラ石油ガス

例に、ベトナム、インド

首都ダッカに「オメラ・

8月にカンボジア、11月

社の持ち分株式を譲り受

ネシアで実績を上げてい

ガスワン社」を設立し

にはバン格拉デシュへの

けて展開するが、海外L

る。

た。日本基準の貯槽・配

進出を発表した。

Pガス販売事業への進出

カンボジアではサイサ

管技術を導入し産業用や

日本のLPガス市場が

は初めて。

ンが70%、現地のEGT

自動車用、さらに簡易ガ

縮小を続けるなか、半世

フィリピンの人口は1

社オーナーが30%を出資

スのノウハウを使った高

紀以上にわたり培ってき

億人。島しょ国であり、

してGasOneカンボ

層集合住宅や新興住宅地

た供給・販売ノウハウを

LPガスによる個別分散

シアを設立、16年7月28

への導管供給を目指す。

東南アジア諸国の民生部

型供給の普及が期待され

日から事業を開始した。

人口1億5250万人

門のLPガス化に投入す

ている。

同国の人口は1500万

の大国で経済成長率は6

る。自社の経営多角化を

イスラ社は家庭向けの

人。内戦から復興を果た

・5%増と高く、20万ト

図りながら、国民生活を

ほか、ショッピングモ

しており、工業団地や高

にとどまるLPガス市場

豊かにしようと努力する

ルやファーストフード店、

層住宅、富裕層住宅向け

の大きな成長が見込まれ

進出国の経済発展にも貢

レストランの商業用、さ

の配管供給を展開する。

ている。

プロパン・ブタンニュース

2017年(平成29年)3月27日(月曜日)